



2025 年 7 月 29 日

各 位

会 社 名 王子ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役 社長執行役員
磯野 裕之
(コード：3861、東証プライム)
問合せ先 常務執行役員
コーポレートガバナンス本部長
大島 忠司
(TEL 03-3563-1111)

2026 年 3 月期第 1 四半期累計期間の連結業績見通しに関するお知らせ

2026 年 3 月期第 1 四半期累計期間（2025 年 4 月 1 日～2025 年 6 月 30 日）の連結業績見通しは下記のとおりとなりましたのでお知らせします。

なお、当第 1 四半期累計期間の連結業績見通しにつきましては、2025 年 5 月 13 日に公表しました 2026 年 3 月期連結業績予想とほぼ同水準で推移しており、連結業績予想に修正はありません。

記

1. 2026 年 3 月期第 1 四半期連結業績見通し

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益
	億円	億円	億円	億円
2026 年 3 月期 第 1 四半期 (A)	4,574	37	△ 36	△ 52
2025 年 3 月期 第 1 四半期 (B)	4,381	145	244	177
増 減 額 (A-B)	193	△ 108	△ 280	△ 229
増 減 率 (%)	4.4	△ 74.5	-	-

2. 当第 1 四半期業績見通しに関する説明

2026 年 3 月期第 1 四半期累計期間の売上高は、Walki 社の買収・連結子会社化等により前年同四半期に対し増収となるものの、営業利益は、海外パルプ事業の減益や物流費や人件費等のコスト上昇等により前年同四半期に対し減益となる見通しです。また、経常利益は、営業利益の減益に加え、外貨建債権債務の評価替えによる為替差損の発生により経常損失となる見通しです。親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益に政策保有株式等の売却に伴う投資有価証券売却益を計上したものの、特別損失にニュージーランドにおける段ボール原紙事業の撤退決定に伴う事業構造改善費用を計上したことに加え、税負担の増加もあり、親会社株主に帰属する四半期純損失となる見通しです。

なお、当社は、2025 年 8 月 4 日に予定している決算発表と同日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。

(参考) 2026 年 3 月期 (2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日) の連結業績予想 (2025 年 5 月 13 日公表)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	億円	億円	億円	億円	円 銭
第 2 四半期 (累計)	9,300	210	110	150	16.04
通期	19,000	750	600	650	69.50

※ 上記に記載した業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上